

ショールームスタッフ科1年シラバス

【1時限:50分】

| 区分 | 科目名 | 時限数 | 担当教員 | | | | | 実務経験 | ページ |
|-------|---------|-----|--------|--------|--------|--------|------|------|-----|
| 教養 | 接客応対Ⅰ | 41 | 長谷川 明大 | 杉本 由紀子 | 三浦 さやか | 外部講師 | | 有 | 2 |
| 教養 | 接客応対Ⅱ | 71 | 長谷川 明大 | 杉本 由紀子 | 三浦 さやか | 外部講師 | | 有 | 3 |
| 教養 | 店舗業務基礎 | 44 | 長谷川 明大 | | | | | | 5 |
| 教養 | 業務知識Ⅰ | 15 | 長谷川 明大 | 松下 綾花 | | | | 有 | 6 |
| 教養 | 販売店実務Ⅰ | 19 | 長谷川 明大 | | | | | | 7 |
| 教養 | 販売店実務Ⅱ | 48 | 長谷川 明大 | | | | | | 8 |
| 教養 | 店舗装飾実習Ⅰ | 44 | 長谷川 明大 | 外部講師 | | | | 有 | 9 |
| 教養 | 店舗装飾実習Ⅱ | 16 | 長谷川 明大 | 外部講師 | | | | 有 | 10 |
| 教養 | 情報処理Ⅰ | 68 | 長谷川 明大 | 松井 梨紗 | | | | | 11 |
| 教養 | 国語表現 | 30 | 長谷川 明大 | | | | | | 13 |
| 教養 | キャリア開発Ⅰ | 66 | 谷川 嘉夫 | 長谷川 明大 | 杉本 由紀子 | 三浦 さやか | 外部講師 | 有 | 14 |
| 学科・実習 | 自動車基礎 | 57 | 長谷川 明大 | | | | | | 15 |
| 学科・実習 | 自動車技術Ⅰ | 113 | 長谷川 明大 | | | | | | 16 |
| 学科・実習 | 自動車技術Ⅱ | 97 | 長谷川 明大 | | | | | | 18 |
| 学科・実習 | 自動車技術Ⅲ | 141 | 長谷川 明大 | | | | | | 20 |
| 学科 | 基礎工学Ⅰ | 8 | 長谷川 明大 | | | | | | 23 |
| 学科 | 基礎工学Ⅱ | 19 | 長谷川 明大 | | | | | | 24 |
| 学科 | 自動車諸元 | 11 | 長谷川 明大 | | | | | | 25 |

| 教養 | 科目名 | コード | 開講時期 | 時限数 | 担当講師 | 実務経験 |
|----|--------|--------|------|-----|------------------------------------|----------------------------|
| | 接客対応 I | 512101 | 1年前期 | 41 | 長谷川 明大 杉本 有紀子 三浦 さやか 外部講師 | トヨタ販売店 姿勢・立ち居振舞い講師 有 |

【授業の目的】

- ・お客様対応ができるようになるために、お客様対応に必要な要素を理解し、お客様対応方法の基礎を知る

【修得目標】

- ・対応スタッフが心得ておくべき要件が説明できる
- ・社会人にふさわしいメイクができる
- ・対応スタッフにふさわしい身だしなみ・表情、及び姿勢ができる
- ・お子様に 대응する際のポイントが説明できる

【授業計画】

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|-------|--------------------|------------------------------|
| 1～11 | 接客とマナー おもてなしの基礎 | 店舗スタッフの資質・必要とされる要件 |
| | | 身だしなみについて |
| | | 笑顔について |
| | | 挨拶について |
| | | 店舗スタッフの資質・働く上で求められる要件について |
| | | 立ち居振る舞いについて |
| | | 言葉遣いについて |
| | | 人間関係の重要性について |
| | | お客様の心理・接客者としての礼儀振る舞いについて |
| | | おもてなしの知識・サービスの意義、機能、種類 |
| 12～14 | 社会人メイク | 社会人にふさわしいメイクアップの仕方 |
| 15～16 | 表情トレーニング | お客様対応スタッフの表情トレーニング |
| 17～19 | 姿勢とウォーキング | お客様対応スタッフの姿勢と歩き方トレーニング |
| 20～27 | ヘアアレンジメント | ヘアスタイルの種類とアレンジ方法について |
| | | ヘアアレンジの方法とメニュー作成(応対実践で活用) |
| 28～35 | 聴き方 | 「聴き方」についての概要 |
| | | 聴き方の種類について(理論と活用の仕方) |
| | 保育体験 | 年齢と発達の関係、子供の受け止め方、接し方について |
| | | 保育体験実習 |
| 36～40 | 接客・マナー 資格取得 | 「相手との違いを認める」「相手を大切にすること」について |
| | | サービス接客検定対策 |
| 41 | 修得試験 | 修得試験 |

【成績評価方法・基準】

- ・筆記試験 80%
- ・平常評価 20%

【教科書・教材】

- ・好印象を与える応対マナーハンドブック

【授業外における学習】

- ・レポート提出が必要となるテーマは、各授業で案内します
(指定されたすべてのレポート提出が科目認定の要件になります)

【履修に当たっての留意点】

- ・応対用の制服を着用する際は事前に案内しますが、常に着用できるように準備しておいてください
- ・顔全体が写る鏡を準備しておいてください

| 教養 | 科目名 | コード | 開講時期 | 時限数 | 担当講師 | 実務経験 |
|----|-------|--------|------|-----|------------------------------------|----------------------------|
| | 接客対応Ⅱ | 512201 | 1年後期 | 71 | 長谷川 明大 杉本 有紀子 三浦 さやか 外部講師 | トヨタ販売店 姿勢・立ち居振舞い講師 有 |

【授業の目的】

- ・基本的小お客様対応が実践できるようになるために、対応スタッフに必要となる基本的な所作を修得する

【修得目標】

- ・対応スタッフの基本的な動きができる
- ・美しい文字が書ける
- ・サービス接客検定試験に合格する

【授業計画】

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|-------|---------------------|---|
| 1～3 | 接客とマナー (フォローアップ) | 挨拶と立ち居振舞いについて |
| | | 言葉遣いについて |
| | | 対応ロールプレイング(導入) |
| 4～24 | お客様対応 ロールプレイング | 1.接客マナー復習 2.店舗で対応場面を想定したロールプレイング① ・受付挨拶 ・御用伺い ・担当者へ取次ぎ(内線電話) |
| | | 1.接客マナー復習 2.店舗で対応場面を想定したロールプレイング② ・待合へのご案内～呈茶 ・お見送り ・外線電話への対応 |
| | | 1.接客マナー復習 2.店舗で対応場面を想定したロールプレイング③ ・受付～お見送り(お客様1名) |
| | | 1.接客マナー復習 2.店舗で対応場面を想定したロールプレイング④ ・お客様が複数の場合の対応 |
| 25～33 | 美しい文字の書き方 | 基礎編 ペンの持ち方、線、文字の書き方 |
| | | 【実践】プライベート編 【宛名】縦書き、横書き、封筒の書き方 |
| | | 【実践】ビジネス編 あいさつ文、お礼状、手紙の書き方 |
| | | 仕上げのレッスン 苦手を克服してきれいな文字を身につける |
| 34～35 | 姿勢とウォーキング | お客様対応スタッフの姿勢と歩き方トレーニング |
| 36～42 | 聴き方 | 聴き方検定試験 |
| | | 聴き方について復習 |
| | お子様対応 | 手遊びや絵本の読み聞かせ、キッズコーナーへの誘導と安心感Ⅰ |
| | | 手遊びや絵本の読み聞かせ、キッズコーナーへの誘導と安心感Ⅱ 壁面製作や折り紙製作などを通じた空間作りⅠ |
| 43～47 | 接客・マナー 資格取得対策 | 壁面製作や折り紙製作などを通じた空間作りⅡ まとめ |
| | | サービス接客検定対策 |
| 48～53 | 資格試験 | サービス接客検定試験 |

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|-------|---------|----------------------------|
| 54～70 | お客様対応実践 | 高度自動車科4年生研究発表見学者の受付・ご案内 |
| | | 出展ブース来店客の受付と学校説明(大阪オートメッセ) |
| | | 卒業式の来賓受付・ご案内 |
| 71 | 修得試験 | サービス接客検定試験(学内試験) |

【成績評価方法・基準】

- ・お客様対応ロールプレイング 60%
- ・平常評価 40%

【教科書・教材】

- ・好印象を与える対応マナーハンドブック

【授業外における学習】

- ・レポート提出が必要となるテーマは、各授業で案内します
(指定されたすべてのレポート提出が科目認定の要件になります)

【履修に当たっての留意点】

- ・応対用の制服を着用する際は事前に案内しますが、常に着用できるように準備しておいてください

| | | | | | | |
|----|--------|--------|------|-----|--------|------|
| 教養 | 科目名 | コード | 開講時期 | 時限数 | 担当講師 | 実務経験 |
| | 店舗業務基礎 | 512102 | 1年前期 | 44 | 長谷川 明大 | |

【授業の目的】

お客様応対ができるようになるために、お客様応対に必要な要素を理解し、お客様応対方法の基礎を知る

【修得目標】

- ・社会人に求められる要件が説明できる
- ・トヨタサービス精神が説明できる

【授業計画】

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|-------|---------------|---------------------------|
| 1～4 | サービス接遇 | さまざまな商業用語、経済用語① |
| | | 社会人に必要な知識 |
| | | さまざまな商業用語、経済用語② |
| 5～11 | 新入社員に向けて | 社会人に向けての心構え |
| | | 会社とは何か |
| | | 【復習】接客応対用語と言葉遣い |
| | | 仕事の基本 |
| | | さまざまな商業用語、経済用語③ |
| 12～15 | トヨタサービス | 販売店の仕事 |
| | | トヨタサービスの精神 |
| | | サービス部門の役割、サービス業務の流れ |
| | | 業務知識・接客応対の基本 |
| 16～17 | 店舗見学 | さまざまな商業用語、経済用語④ |
| | | 店舗見学ガイダンスと移動 店舗見学お礼状作成 |
| 18～27 | サービス接遇 | 店舗見学ガイダンスと移動 |
| | | さまざまな商業用語、経済用語⑤ |
| | | 人間関係・接遇に関する知識 |
| | | 対人技能、【サービス接遇検定分野別問題】 |
| | | さまざまな商業用語、経済用語⑥ |
| | | サービスの専門知識 |
| 28～36 | 自動車販売店の女性スタッフ | さまざまな商業用語、経済用語⑦ |
| | | 現場での対応 |
| | | 接客サービスの心構え |
| | | 【サービス接遇検定分野別問題】 |
| | | 店舗スタッフのスキルアップ |
| 37～43 | 試験対策 | 店舗スタッフの活躍ステージ |
| | | 接客サービスの心構えレベルアップ |
| | | お客様タイプ別の接客サービス |
| | | 接客サービスの心構えレベルアップ |
| 44 | 修得試験 | 修得試験 |

【成績評価方法・基準】

- ・筆記試験 80%
- ・平常評価 20%

【教科書・教材】

【授業外における学習】

【履修に当たっての留意点】

- ・ショールームスタッフに求められる幅広い知識を身に付けましょう

| | | | | | | |
|----|--------|--------|------|-----|-----------------|--------|
| 教養 | 科目名 | コード | 開講時期 | 時限数 | 担当講師 | 実務経験 |
| | 業務知識 I | 512202 | 1年後期 | 15 | 長谷川 明大 松下 綾花 | トヨタ販売店 |

【授業の目的】

ショールームスタッフに必要となる店舗業務に関係する知識を修得する

【修得目標】

- ・サービス部門の役割を説明ができる
- ・自動車販売店に関わる法律の概要が説明できる
- ・自動車の登録手続き方法が説明できる

【授業計画】

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|-------|---------------------|--|
| 1～4 | 業務知識 (サービス部門の知識) | 販売店の組織と販売商品、自社サービス商品の提案、作業待ち時間の対応、整備結果のご説明、在庫のお礼、調子伺いの実施、点検の種類と必要性、自社在庫、自社在庫優位性訴求、自社営業体制、保証制度(概要)、保証がつくしプラン、メンテナンスノート、故障緊急時の初期対応、苦情対応、リコール対応 |
| 5～11 | 業務知識 (法律) | 自動車販売会社に関わる法律、車の品質や安全にかかわる法律、消費者契約法、個人情報保護法、独占禁止法、手形小切手法、自動車の税金、契約成立と取り消し、自動車の検査・登録、車両の故障等の責任、車の点検整備、車の改造、U-car販売、整備の不具合、不正行為、保証 |
| 12～14 | 業務知識 (登録関係) | 登録の目的と種類、登録に必要な書類、自動車にかかる税金の種類、登録ナンバーに関する知識、ウェルキャブ、カスタマイズ、営業車の登録手続き 移転登録、納車までの準備書類 |
| 15 | 修得試験 | 修得試験 |

【成績評価方法・基準】

- ・筆記試験 80%
- ・平常評価 20%

【教科書・教材】

- ・トヨタ販売店スタッフ向け 身に付けよう 知識・技術 I

【授業外における学習】

【履修に当たっての留意点】

| | | | | | | |
|----|---------|--------|------|-----|--------|------|
| 教養 | 科目名 | コード | 開講時期 | 時限数 | 担当講師 | 実務経験 |
| | 販売店実務 I | 512103 | 1年前期 | 19 | 長谷川 明大 | |

【授業の目的】

ショールームスタッフに必要となる自動車装備品の商品説明ができる

【修得目標】

- ・店舗の業務が説明できる
- ・自動車装備品の操作方法と機能が説明できる

【授業計画】

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|------|-----------|----------------------------------|
| 1～4 | 職場見学 | トヨタ販売店の店舗業務の見学、及び現場のショールームスタッフ見学 |
| 5～19 | 自動車装備品の理解 | 快適装備：座席シート機能説明①(5月) |
| | | 快適装備：座席シート機能説明②(6月) |
| | | 快適装備：ステアリング・メーター機能説明(7月) |
| | | 快適装備：ドア・室内ミラー機能説明(8月) |
| | | 快適装備：電気装備品、その他装備品(9月) |

【成績評価方法・基準】

- ・商品機能説明ロールプレイング 60%
- ・平常評価 40%

【教科書・教材】

【授業外における学習】

【履修に当たっての留意点】

- ・実習場では実習服・帽子、及び安全靴を着用してください。

| | | | | | | |
|----|--------|--------|------|-----|--------|------|
| 教養 | 科目名 | コード | 開講時期 | 時限数 | 担当講師 | 実務経験 |
| | 販売店実務Ⅱ | 512203 | 1年後期 | 48 | 長谷川 明大 | |

【授業の目的】

ショールームスタッフに必要となる自動車関連の商品説明ができる

【修得目標】

- ・サービス部門の商品の特徴について商品説明ができる
- ・自動車のカタログを使った自動車の説明ができる
- ・自動車装備品の操作方法と機能が説明できる

【授業計画】

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|------------------------------|-----------|--|
| 1～15 | サービス商品知識 | エンジンオイルの種類と交換の必要性、オイルフィルタ交換の必要性、オイル添加剤について説明、及びロールプレイング(10月) |
| | | ブレーキフルードの種類と交換の必要性、タイヤの種類と交換の必要性について説明、及びロールプレイング(12月) |
| | | LLCの種類、ブレーキパッドの種類、ヘッドライトバルブの種類、バッテリーの種類について説明、及びロールプレイング(1月) |
| | | ナビゲーションの種類、ETCのシステムと関連部品、ケミカル用品について説明、及びロールプレイング(1月) |
| | | 商品全般の説明ロールプレイング(2月) |
| 16～22 | 自動車カタログ | 自動車カタログの見方、実車にてカタログを使った説明のロールプレイング(コンパクト・セダン、自動車諸元を除く、10月) |
| | | 自動車カタログの見方、実車にてカタログを使った説明のロールプレイング(ミニバン・SUV、自動車諸元を除く、10月) |
| | | 自動車カタログの見方、実車にてカタログを使った説明のロールプレイング(自動車諸元を中心に実施、3月) |
| 23～48 | 自動車装備品の理解 | 快適装備: T-CONNECT(ミライ専用サービス含む、10月) |
| | | 走行性能: ブレーキ、SuperECT、HV、PHV、ミライ、その他装備品機能説明と走行体験(11月) |
| | | 走行性能: 4WD、サスペンションの機能説明と走行体験(12月) |
| | | 環境性能: 排出ガス抑止装置の機能説明(1月) |
| | | 安全性能: タイヤ、エンジンフード、ライト、HVの機能説明(1月) |
| | | 安全性能: TOYOTA SAFETY SENSEの機能説明と走行体験((1月) |
| | | 安全性能: TOYOTA SAFETY SENSEの機能説明と走行体験(1月) |
| | | 安全性能: 安全装備の理解と機能説明と走行体験Ⅰ(3月) |
| 安全性能: 安全装備の理解と機能説明と走行体験Ⅱ(3月) | | |

【成績評価方法・基準】

- ・商品機能説明ロールプレイング 60%
- ・平常評価 40%

【教科書・教材】

【授業外における学習】

【履修に当たっての留意点】

- ・実習場では実習服・帽子、及び安全靴を着用してください。

| | | | | | | |
|----|---------|--------|------|-----|----------------|------|
| 教養 | 科目名 | コード | 開講時期 | 時限数 | 担当講師 | 実務経験 |
| | 店舗装飾実習Ⅰ | 512104 | 1年前期 | 44 | 長谷川 明大 外部講師 | 有 |

【授業の目的】

店舗で必要となる装飾技能を習得する

【修得目標】

- ・店舗装飾で活用できるPOPが作成できる
- ・店舗装飾で活用できるフラワー装花が作成できる

【授業計画】

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|-----------|--------------------|---|
| 1～16 | 店舗装飾 (フラワーアレンジ) | フラワーアレンジメント基礎編1(5月) 装花の基礎知識・色のバランス |
| | | フラワーアレンジメント店舗装飾品作り1 |
| | | フラワーアレンジメント【実践】プライベート編(6月) ゲストテーブル装花制作 |
| | | フラワーアレンジメント店舗装飾品作り2 ゲストテーブル装花制作 |
| 17～24 | 店舗装飾 (POP作成) | 店舗装飾品POP作り講義1(7月) |
| | | 店舗装飾品POP作り1 |
| 25～30 | 店舗装飾 (フラワーアレンジ) | フラワーアレンジメント【実践】ビジネス編(7月) 店舗装花制作・ゲスト用制作 |
| | | フラワーアレンジメント店舗装飾品作り3 店舗装花制作・ゲスト用制作 |
| 31～36 | 店舗装飾 (POP作成) | 店舗装飾品POP作り講義2(8月) |
| | | 店舗装飾品POP作り2 |
| 37～ 44 | 店舗装飾 (フラワーアレンジ) | フラワーアレンジメント仕上げのレッスン(9月) 1年のテーマに沿っての花造り |
| | | フラワーアレンジメント店舗装飾品作り4 1年のテーマに沿っての花造り |

【成績評価方法・基準】

- ・平常評価 100%

【教科書・教材】

【授業外における学習】

【履修に当たっての留意点】

| | | | | | | |
|----|---------|--------|------|-----|----------------|------|
| 教養 | 科目名 | コード | 開講時期 | 時限数 | 担当講師 | 実務経験 |
| | 店舗装飾実習Ⅱ | 512204 | 1年後期 | 16 | 長谷川 明大 外部講師 | 有 |

【授業の目的】

店舗で必要となる装飾技能を習得する

【修得目標】

・店舗装飾で活用できるPOPが作成できる

【授業計画】

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|------|-----------------|--------------------|
| 1～16 | 店舗装飾 (POP作成) | 店舗装飾品POP作り講義7(12月) |
| | | 店舗装飾品POP作り7 |
| | | 店舗装飾品POP作り講義8(3月) |
| | | 店舗装飾品POP作り8 |

【成績評価方法・基準】

・平常評価 100%

【教科書・教材】

【授業外における学習】

【履修に当たっての留意点】

| | | | | | | |
|----|--------|--------|------|-----|-----------------|------|
| 教養 | 科目名 | コード | 開講時期 | 時限数 | 担当講師 | 実務経験 |
| | 情報処理 I | 512301 | 1年通年 | 68 | 長谷川 明大 松井 梨紗 | |

【授業の目的】

文書作成や売上計算を行う上で必要となるパソコン操作の基礎知識を身につける

【修得目標】

- ・Word、Power Point、Excelの基本操作ができる
- ・テーマを決めたポスターの製作ができる

【授業計画】

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|-------|------------------|---|
| 1 | オリエンテーション | 授業の進め方、パソコンの基本操作 |
| 2 | パソコンの基本操作の確認 | 初歩的なパソコンスキル(Windows) |
| 3 | Word基礎 | Wordの文書作成方法、基礎的な操作方法 |
| 4 | 文字の配置と装飾 | フォントの種類、文字の装飾 |
| 5 | インデント、タブ、印刷 | インデントの調整方法、箇条書きの作成方法 |
| 6 | 箇条書き、特殊文字 | 見栄えのいいオフィシャル文章で使用する機能 |
| 7~8 | 表 | 各種表の作成方法 |
| 9 | Word~まとめ①~ | ドリルを使った総復習 |
| 10~11 | 画像 | 画像、クリップアート、図形、テキストボックス、加工、画像レイアウト |
| 12 | ポスター実践(Word編) | ポスター見本通りのものを作成 |
| 13 | | 指定内容のポスターをWordで作成 |
| 14 | パワーポイント基礎 | パワーポイントの基本操作 |
| 15 | Word復習~パワーポイント~ | Wordとパワーポイントで共通する事柄の復習 |
| 16 | パワーポイント特有の機能 | アニメーション、発表者ツール、デザイン、スライドマスタの使い方 |
| 17 | プレゼンテーション機能 | スライドショー、資料作成、プレゼン技術 |
| 18 | ポスター実践(PPT編) | 指定内容のポスターをWordで作成 |
| 19 | 画像加工 | フォントの種類、ロゴの作成方法 |
| 20 | リテラシー① | SNSの正しい使い方、パスワード使いまわしの危険性 |
| 21~24 | ポスター作成 | 学園祭で展示するポスター作成 (Word,Pptどちらでも) |
| 25 | リテラシー② | メールリテラシー、悪質なメール詐欺に気を付けよう、ウィルスメール・迷惑メールとは |
| 26 | メールの基本(Outlook①) | メールの送信、メール基礎 |
| 27 | 便利な機能(Outlook②) | メッセージ形式、フォルダ分け、アドレス帳、メーリングリスト |
| 28 | 便利な機能・応用編(③) | 迷惑メール振り分け、自動仕分け |
| 29 | 実践編(Outlook④) | メール本文に画像挿入、CC,Bccはどう見えるか、フォント・色サイズ変更 |
| 30 | Excel導入 | エクセルの基本操作 |
| 31 | Excelの便利な機能 | データ・セル・行・列の削除・挿入、オートコンプリート、オートフィル、データの移動・複写 |
| 32 | 書式設定 | Excel特有の書式設定、Microsoftのフォント・文字配置の復習 |
| 33 | 罫線 | 罫線、非表示・再表示、コピー・ペーストの注意点(形式選択) |
| 34 | 印刷、ページ設定 | 印刷設定(プリンタで試す)、ヘッダー・フッター |
| 35 | 計算の基本 | エクセルの計算の基本、セル参照 |
| 36 | 関数の基本 | 頻出関数の使い方 |
| 37 | 便利な計算関数 | 四捨五入、整数・余りを計算する関数 |
| 38 | 論理、日付、時刻関数 | 論理関数(IF)、日付/時刻関数 |
| 39 | 文字列操作関数 | 文字列操作関数 |
| 40 | 様々な関数 | 文字列変換関数、文字列編集関数 |

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|----|------------------|---|
| 41 | 条件付き書式 | 条件付き書式の使い方 |
| 42 | 入力規則 | 入力規則の設定、各種表示メッセージの変更、リスト入力 |
| 43 | 小技 | コメント機能、単語の検索・置換、ハイパーリンク |
| 44 | グラフ① | グラフの基礎、グラフの種類、色やスタイル変更 |
| 45 | グラフ② | グラフの各種項目の編集方法、グラフ化するデータの範囲変更、実際にグラフ作成 |
| 46 | グラフ③ | グラフの小技、グラフの移動、複合グラフ、値間隔の変更 |
| 47 | グラフ～実践編～ | データを用意して実際にグラフを作ってみる、見やすい・わかりやすいグラフ作る |
| 48 | Word、Pptで作成するグラフ | Word・Pptでグラフを作成、Excelとの違い(サイズ変更、データ変更)を体感する |
| 49 | Excelのグラフの利用 | Excelで作成したグラフをWord,Pptにいれこむ、貼付け形式 |
| 50 | データ分析 | 昇順・降順のやり方、フィルター機能 |
| 51 | シートの活用、3-D集計 | シートの編集、串刺し集計 |
| 52 | 動画編集基礎 | おおよその動画の作り方、到達点を説明 |
| 53 | ムービーメーカーの使い方 | Windows Movie Makerの使い方 |
| 54 | 素材選び | 車体科提供の写真から使用するものを選ぶ |
| 55 | 動画デザイン | 5分ほどの動画構成を考える |
| 56 | 動画編集(実践) | イベントで使用する3～5分ほどの動画を作る |
| 57 | | |
| 58 | | |
| 59 | | |
| 60 | 封筒作成 | コメント・変更履歴、封筒作成機能、差込印刷の概要説明 |
| 61 | 差込印刷～エクセルデータ～ | Excelデータを使用した差込印刷方法、アウトライン・番号の作成 |
| 62 | ページ設定 | セクション区切り、ヘッダー・フッター、図表番号、目次 |
| 63 | Wordの小技 | 小技、ブックマーク、ジャンプ機能、テンプレートの活用 |
| 64 | 上下、左右揃え | 図の揃え方、上下・左右揃え |
| 65 | word～まとめ②～ | ドリルを使った復習(Word後半) |
| 66 | 差込印刷～実践～ | 差込印刷の実践 |
| 67 | グラフ～実践～ | データからグラフにおとしこむ実践、見やすいグラフ(色・ラベル・値間隔を編集) |
| 68 | 総まとめ | 1年間の総復習、何ができるようになったかの再確認、来年度の予定 |

【成績評価方法・基準】

・平常評価 100%

【教科書・教材】

【授業外における学習】

【履修に当たっての留意点】

| | | | | | | |
|----|------|--------|------|-----|--------|------|
| 教養 | 科目名 | コード | 開講時期 | 時限数 | 担当講師 | 実務経験 |
| | 国語表現 | 512303 | 1年通年 | 30 | 長谷川 明大 | |

【授業の目的】

ショールームスタッフとして必要となる一般常識を身に付ける(就職筆記試験対策問題を活用)

【修得目標】

- ・就職試験で対応できるレベルの一般常識(国語、数学、英単語)が身につけている
- ・漢字検定準2級の取得

【授業計画】

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|-------|----------|--------------|
| 1 | 就職筆記試験対策 | 一般常識(国語) |
| 2 | 漢字検定対策 | 漢字検定3級問題と解説 |
| 3 | 就職筆記試験対策 | 一般常識(数学) |
| 4 | 漢字検定対策 | 漢字検定3級問題と解説 |
| 5 | 就職筆記試験対策 | 一般常識(英単語・英語) |
| 6 | 漢字検定対策 | 漢字検定3級問題と解説 |
| 7 | 就職筆記試験対策 | 一般常識(SPI) |
| 8 | 漢字検定対策 | 漢字検定3級問題と解説 |
| 9 | 就職筆記試験対策 | 一般常識(国語) |
| 10 | 漢字検定対策 | 漢字検定3級問題と解説 |
| 11 | 就職筆記試験対策 | 一般常識(数学) |
| 12 | 漢字検定対策 | 漢字検定準2級問題と解説 |
| 13 | 就職筆記試験対策 | 一般常識(英単語・英語) |
| 14 | 漢字検定対策 | 漢字検定準2級問題と解説 |
| 15 | 就職筆記試験対策 | 一般常識(SPI) |
| 16 | 漢字検定対策 | 漢字検定準2級問題と解説 |
| 17 | 就職筆記試験対策 | 一般常識(国語) |
| 18 | 漢字検定対策 | 漢字検定準2級問題と解説 |
| 19 | 就職筆記試験対策 | 一般常識(数学) |
| 20 | 漢字検定対策 | 漢字検定準2級問題と解説 |
| 21 | 就職筆記試験対策 | 一般常識(英単語・英語) |
| 22 | 漢字検定対策 | 漢字検定準2級問題と解説 |
| 23 | 就職筆記試験対策 | 一般常識(SPI) |
| 24~27 | 漢字検定対策 | 漢字検定準2級問題と解説 |
| | | 漢字検定準2級問題と解説 |
| | | 漢字検定準2級問題と解説 |
| | | 漢字検定準2級問題と解説 |
| 28~30 | 修得試験 | 一般常識試験 |
| | | 漢字検定準2級試験 |

【成績評価方法・基準】

- ・筆記試験 80%
- ・平常評価 20%

【教科書・教材】

【授業外における学習】

【履修に当たっての留意点】

| 教養 | 科目名 | コード | 開講時期 | 時限数 | 担当講師 | 実務経験 |
|----|----------|--------|------|-----|---|----------------------------|
| | キャリア開発 I | 512302 | 1年通年 | 66 | 谷川 嘉夫 長谷川 明大 杉本 有紀子 三浦 さやか 外部講師 | トヨタ販売店 姿勢・立ち居振舞い講師 有 |

【授業の目的】

社会人に必要となる教養を身に付ける

【修得目標】

- ・自動車販売店で働く店舗スタッフとしてのキャリアデザインができる
- ・社会人としてのキャリアデザインができる
- ・キャリアデザインをふまえた企業研究ができるとともに就職内定を勝ち取る

【授業計画】

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|-------|------------|---|
| 1～4 | キャリアデザイン | 研修の目的とプログラムの紹介 |
| | | 販売店の女性スタッフについて |
| | | ショールームスタッフについて |
| | | 女性のキャリアデザイン |
| 5～9 | 自動車産業 | 全産業における自動車産業の位置づけと重要性について |
| | 自動車メーカー | 日本や世界の自動車メーカーの種類と特徴 |
| | トヨタ自動車・販売店 | トヨタ自動車の歴史、トヨタ販売店とのつながり |
| | 自動車の歴史 | 自動車発展の歴史、国産自動車の歴史、確認試験 |
| 10～12 | ライフプラン | 3年後・7年後・10年後の未来を考える (ワークシート、イメージコラージュ作り) |
| 13～15 | マネープラン | クレジット、カードローンの基礎知識 金融と経済のしくみについて 人生のマネープランニング |
| 16～19 | ワークライフバランス | 労働基準法と労働条件について (働く時間、働くルール、有給休暇、最低賃金、労働条件通知書、解雇・退職など) |
| 20～22 | 就職ガイダンス | ・会社訪問の大切さ ・企業研究(比較)のための題材 ・会社訪問のポイント |
| 23～25 | 会社訪問演習 | 会社訪問の仕方についてロールプレイングを交えた演習 (アポイントの取り方、訪問時の対応方法など) |
| 26～28 | 企業研究1 | 企業研究セミナーで求人予定の企業様と面談 |
| 29～33 | 企業研究2 | 自己分析、及び就職希望の企業様の比較検討 |
| 34～37 | 学生交流イベント | チームでのモノづくりを通して交流を図る |
| 38～51 | 研修旅行 | プロのおもてなしを見学/実体験 自動車に乗る楽しさと新装備品を体験 |
| 52～59 | セルフマネジメント | グループワークによる協調性・コミュニケーションのトレーニングを図る①(4月) |
| | | グループワークによる協調性・コミュニケーションのトレーニングを図る②(6月) |
| | | 自己理解と他己理解について①(8月) |
| | | 自己理解と他己理解について②(9月) |
| 60～61 | ミステリーショッパー | 調査項目、調査基準を設定し、自動車業界以外の店舗について ミステリーショッパー企画書を作成(ミステリーショッパーの実施は春休み宿題) |
| 62～65 | レポート作成 | ライフプラン、ワークライフバランス授業のレポート作成 |
| | | マネープラン、お子様対応授業のレポート作成 |
| 66 | 実力試験 | 3級ガソリン自動車整備士試験 模擬問題 |

【成績評価方法・基準】

- ・平常評価 100%

【教科書・教材】

【授業外における学習】

【履修に当たっての留意点】

| | | | | | | |
|----------|-------|--------|------|-----|--------|------|
| 学科 実習 | 科目名 | コード | 開講時期 | 時限数 | 担当講師 | 実務経験 |
| | 自動車基礎 | 511101 | 1年前期 | 57 | 長谷川 明大 | |

【授業の目的】

ショールームスタッフに必要となる自動車の知識を修得するために、自動車の装備品の使用法を理解する

【修得目標】

- ・自動車の種類と車種名称が言える
- ・自動車装備品の操作方法が説明できる
- ・安全作業の必要性が説明できる

| | |
|------|------|
| 学科授業 | 36時限 |
| 実習授業 | 21時限 |

【授業計画】

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|-------|-------------------------|---------------------------------|
| 1～4 | ボディタイプの種類・車種名称 | ボディタイプの違う車の試乗体験 |
| | | 車種名① |
| 5～7 | 安全作業 | 安全作業の必要性 |
| 8～18 | 自動車装備品の操作方法 (ボデー装備品) | 取扱説明書の見方、キーの取り扱い |
| | | ドアの開閉のしかた、ロックのしかた |
| | | シート、ハンドル、ミラーの調節 |
| | | ドアガラスの開閉、給油のしかた、エンジンフード、トランクの開閉 |
| | | 盗難防止システム、安全装備 |
| | | 確認テスト |
| 19～30 | 自動車装備品の操作方法 (室内装備品) | ・エンジンのかけ方(安全作業) |
| | | ・運転のしかた |
| | | ライト、ワイパー |
| | | メーターの見方 |
| | | その他走行装置 |
| | | エアコン・デフォッグ |
| | | 室内灯、収納装備 |
| | | その他室内装備 |
| | | 確認テスト |
| 31～37 | 自動車のお手入れ方法、内外装部品の名称 | 車の手入れ |
| | | 内外装部品の名称 |
| | | 車種名② |
| | | 確認テスト |
| 38～48 | 作業体験 | 自動車各部の部品交換作業体験 |
| | | 警告灯 |
| | | イベントレコーダ |
| | | 確認テスト |
| 49～54 | 復習授業 | 復習授業 |
| 55～57 | 修得試験 | 修得試験 |

【成績評価方法・基準】

- ・筆記/実技試験 80%
- ・平常評価 20%

【教科書・教材】

- ・TEAM-GP第1ステップ

【授業外における学習】

- ・授業の最終日にレポート提出が必要となります。
(レポート提出が科目認定の要件となります)

【履修に当たっての留意点】

- ・授業では、エンジニアウェアを着用して下さい。
- ・実習場では実習服・帽子、及び安全靴を着用して下さい。

| | | | | | | |
|----------|---------|--------|------|-----|--------|------|
| 学科 実習 | 科目名 | コード | 開講時期 | 時限数 | 担当講師 | 実務経験 |
| | 自動車技術 I | 511102 | 1年前期 | 113 | 長谷川 明大 | |

【授業の目的】

ショールームスタッフに必要となる自動車の知識を修得するために、自動車の基本構造を理解する

【修得目標】

- ・自動車の「走る」「曲がる」「止まる」ための各装置の基本構造が説明できる
- ・エンジン本体各装置の名称と役割が説明できる
- ・整備工具の名称と使い方が説明できる

| | |
|------|------|
| 学科授業 | 28時限 |
| 実習授業 | 85時限 |

【授業計画】

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|-------------|-------------------|---|
| 1～2 | カスタマーサービスの原点、安全作業 | カスタマーサービスの原点について ワークシート使用、回転部分、エンジンルームで熱くなる部分の確認 |
| 3～6 | 駆動方式による分類 | 駆動方式(FF・FR・4WD・MR・RR)の違いによる特徴 走行体験 |
| 7 | エンジンの種類 | エンジンの種類(Gエンジン、Dエンジン、HVなど)と特徴 |
| 8 | 法律による分類 | 乗用自動車、貨物自動車、レンタカーなどの分類 |
| 9 | 復習 | 確認テスト |
| 10 | 室内装備 | 室内装備品確認 |
| 11 | 自動車の機能 | 機能について |
| 12～23 | 自動車の基本的な構造 | 走るためのしくみ(エンジン) |
| | | 走るためのしくみ(トランスミッション) |
| | | 走るためのしくみ(ティファレンシャル) |
| | | 走るためのしくみ(動力伝達装置) |
| | | 曲がるためのしくみ(ステアリング) |
| | | 止まるためのしくみ(ブレーキ) |
| | | 確認テスト |
| 24 | 室内装備 | 室内装備品確認 |
| 25～26 | エンジン概要 | 走るためのしくみ確認テスト エンジンの動く原理(復習)、エンジンの形の色々、エンジン本体構造 |
| 27～33 | エンジン構造 I | 吸気装置 |
| | | 燃料装置 |
| | | 潤滑装置 |
| | | 冷却装置 |
| | | 排気装置 |
| 34 | 安全作業 | 安全作業について、4Sの必要性 |
| 35～36 | 刃物道具、整備工具 | 刃物道具(はさみ、カッターなど)の使い方 メスタの工具の名称と特徴、使い方 |
| 37 | 室内装備 | 室内装備品確認 |
| 38～50 | エンジン構造 I | 始動装置 |
| | | 基本作業(修理書の見方) 作業体験 |
| | | 水ペットボトルロケット作成 |
| | | 吸入行程 |
| | | 圧縮行程 |
| | | 燃焼行程 |
| | | 排気行程 |
| | | エンジンに使われる油脂の性質と取扱い【安全作業】 |
| エンジ構造 I まとめ | | |
| 51 | 室内装備 | 室内装備品確認 |

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|---------|----------------|--|
| 52～63 | 整備工具 | エンジン分組体験 ⇒工具の使い慣れのための単体エンジン分組 (インマニ、エキマニ、ヘッドカバー、ヘッド、オイルパン脱着) |
| 64～66 | 動力伝達装置 | FRでの動力伝達装置(復習)、その他動力伝達装置の役割と構成 4WDの動力伝達 MR、RRの動力伝達 |
| 67～70 | クラッチ構造 I | 役割、求められる条件 クラッチの作動 |
| 71 | 室内装備 | 室内装備品確認 |
| 72～80 | トランスミッション I | TMの役割、求められる条件 走行体験 必要性とその原理 CVTの概要 シフト操作の違いを体験 トランスミッションまとめ |
| 81～82 | プロペラシャフト | プロペラシャフトの役割 走行体験 |
| 83～85 | デューアレンシャル I | デューアレンシャルの3作用と役割 走行体験 |
| 86 | 室内装備 | 室内装備品確認 |
| 87～88 | ドライブシャフト | プロペラシャフト、デューアレンシャル確認テスト、ドライブシャフトの役割、働き 走行体験 |
| 89 | 動力伝達装置の油脂類 | ギヤオイル、フルードの種類と特徴 |
| 90 | 動力伝達装置 | 動力伝達装置1ステップまとめ |
| 91 | ディーゼルエンジン I | ディーゼルエンジン概要、ガソリンエンジンとの類似点、相違点 |
| 92～93 | HV I | HVの概要 トヨタのHV車両 |
| 94 | 室内装備 | 室内装備品確認 |
| 95～96 | エンジン復習 | エンジンの構造 |
| 97～101 | シャシ復習 | クラッチ トランスミッション プロペラシャフト・デューアレンシャル・ドラシャ |
| 102 | ディーゼルエンジン、HV復習 | ディーゼルエンジン、HV概要 |
| 103～110 | 復習授業 | 開放授業 |
| 111～113 | 修得試験 | 修得試験 |

【成績評価方法・基準】

- ・筆記/実技試験 80%
- ・平常評価 20%

【教科書・教材】

- ・TEAM-GP第1ステップ

【授業外における学習】

- ・授業の最終日にレポート提出が必要となります。
(レポート提出が科目認定の要件となります)

【履修に当たっての留意点】

- ・授業では、エンジニアウェアを着用して下さい。
- ・実習場では実習服・帽子、及び安全靴を着用して下さい。

| | | | | | | |
|----------|--------|--------|------|-----|--------|------|
| 学科 実習 | 科目名 | コード | 開講時期 | 時限数 | 担当講師 | 実務経験 |
| | 自動車技術Ⅱ | 511201 | 1年後期 | 97 | 長谷川 明大 | |

【授業の目的】

ショールームスタッフに必要となる自動車の知識を修得するために、自動車の基本構造を理解する

【修得目標】

- ・自動車の「走る」「曲がる」「止まる」ための各装置の基本構造が説明できる
- ・走行に係る装置の名称と役割が説明できる
- ・工作工具、工作機器の名称と使い方が説明できる

| | |
|------|------|
| 学科授業 | 28時限 |
| 実習授業 | 69時限 |

【授業計画】

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|-------|-----------|----------------------------------|
| 1～9 | サスペンションⅠ | 走行体験 |
| | | 働き、乗り心地の向上、操縦安定性の確保について |
| | | 構造と動き、左右輪の支え方の種類 |
| | | サスペンション構造研究 作業体験 |
| 10 | 室内装備 | 室内装備品確認 |
| 11～20 | タイヤ・ホイールⅠ | ドラシャ確認テスト タイヤの役割、4大機能 走行体験 |
| | | タイヤ・ホイールのサイズ表示 |
| | | ガレージジャッキの使用法 |
| | | タイヤ脱着体験 |
| | | タイヤローテーション体験 |
| | | タイヤ摩耗のしくみとタイヤのメンテナンス |
| 21 | 室内装備 | 室内装備品確認 |
| 22～25 | ブレーキⅠ | 走行体験 |
| | | ブレーキの役割、構成部品、装置の概要 |
| 26～31 | ステアリングⅠ | サスペンション、ブレーキ確認テスト、走行体験 |
| | | まっすぐ走らせる理由、しくみ、事故時の安全性を高めるしくみ |
| | | タイヤの向きが変わるしくみ |
| | | 構造研究 |
| 32 | 室内装備 | 室内装備品確認 |
| 33～37 | ブレーキⅠ | 構造研究 分組体験 |
| 38～42 | 電気の基礎Ⅰ | ステアリング、ブレーキ確認テスト、電気の基本、電圧電流抵抗の関係 |
| | | 電気回路図記号、単位、直流と交流 |
| | | オームの法則、抵抗の性質 |
| | | 復習 |
| 43 | 室内装備 | 室内装備品確認 |
| 44～48 | ブレーキⅠ | 走行体験 |
| | | パーキングブレーキの構造 |
| | | パーキングブレーキの構造研究 作業体験 |
| | | ブレーキフルードの特徴 |
| 49～54 | 電気の基礎Ⅱ | 電気(復習) ショート実験、抵抗値と流れる電流の関係 |
| | | ヒューズ脱着体験 |
| | | 自動車の電気回路 テスターの使い方(電圧計) |
| 55 | 室内装備 | 室内装備品確認 |

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|-------|------|---|
| 56～75 | 工作作業 | アルミの鍋敷き、砂時計など作成 電気工作でハンダ作業 オートメッセブース内の装飾品作成 |
| | | 評価 |
| 76 | 室内装備 | 室内装備品確認 |
| 77～81 | 安全装備 | 自動車安全機能 |
| | | 自動車安全機能実車確認 |
| 82～94 | 復習授業 | ブレーキ、電気の確認テスト、サスペンション |
| | | タイヤ、ステアリング |
| | | ブレーキ |
| | | 電気装置 |
| | | 開放授業 |
| 95～97 | 修得試験 | 修得試験 |

【成績評価方法・基準】

- ・筆記/実技試験 80%
- ・平常評価 20%

【教科書・教材】

- ・TEAM-GP第1ステップ

【授業外における学習】

- ・授業の最終日にレポート提出が必要となります。
(レポート提出が科目認定の要件になります)

【履修に当たっての留意点】

- ・授業では、エンジニアウェアを着用して下さい。
- ・実習場では実習服・帽子、及び安全靴を着用して下さい。

| | | | | | | |
|----------|--------|--------|------|-----|--------|------|
| 学科 実習 | 科目名 | コード | 開講時期 | 時限数 | 担当講師 | 実務経験 |
| | 自動車技術Ⅲ | 511202 | 1年後期 | 141 | 長谷川 明大 | |

【授業の目的】

シヨールームスタッフに必要となる自動車の知識を修得するために、エンジンの構造を理解する

【修得目標】

- ・エンジン本体、及びエンジン各装置の基本構造が説明できる
- ・エンジン分解組み付けの作業注意点が説明できる

| | |
|------|-------|
| 学科授業 | 36時限 |
| 実習授業 | 105時限 |

【授業計画】

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|-------|------------|--|
| 1～4 | エンジン概要復習 | 内燃機関の概要・分類・燃焼方式による分類 |
| | | 点火又は着火による分類～バルブ機構による分類、シリンダ数及び配置による分類 4サイクルガソリンエンジン復習 |
| | | ガソリンエンジンとは(復習) |
| 5～15 | エンジンが動く仕組み | エンジン4行程 |
| | | エンジンをスムーズに回転させるしくみ、エンジンの力をコントロールするしくみ |
| | | ガソリンエンジンの3要素 |
| | | ・エンジンにとって良い混合気とは ・走行体験(GTSターモータ) |
| | | 良い圧縮 |
| | | 良い火花 |
| | | 点火時期、進角と遅角、燃焼～ノッキングについて 車両でイグナイタ脱着作業の体験 |
| 16～41 | エンジン本体部品 | エンジン本体部品 |
| | | シリンダヘッド |
| | | シリンダとシリンダブロック |
| | | V型など各種エンジンの特徴確認、シリンダヘッド、シリンダとブロック構造研究 |
| | | 点検整備 |
| | | ピストン、ピストンピン |
| | | ピストンリング |
| | | コンロッド及びコンロッドヘッドアリング |
| | | ピストン～コンロッドヘッドアリングまでの構造研究 |
| | | 点検整備 |
| | | クランクシャフト及びジャーナルヘッドアリング |
| | | フライホイールとリングギヤ |
| | | クランクシャフト、ジャーナルヘッドアリング、フライホイール、リングギヤの構造研究 |
| 点検整備 | | |
| 42～53 | エンジンのバルブ機構 | クランク～リングギヤまで確認テスト バルブ機構 |
| | | バルブ機構の構造研究 |
| | | カムシャフト・タペット |
| | | バルブタイミングダイヤグラム |
| | | バルブクリアランス、VVT-i |
| | | 点検整備 |
| | | 内燃機関理論、アトキンソンサイクルエンジン |
| 54～55 | 安全作業 | 安全作業について考える |
| 56～57 | 工具の取り扱い | エアツールの使い方 |
| | | タイヤローテーション作業 |

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|---------|-------------|--|
| 58～63 | 潤滑装置 | バルブ機構、バルタイ確認テスト、潤滑各部名称(復習) |
| | | オイルポンプ構造作動 |
| | | オイルフィルタ構造と役割、オイルパンの特徴 |
| | | オイルポンプ～オイルパンまで構造研究 作業体験 |
| 64～70 | 冷却装置 | オイルポンプ～オイルパンまで確認テスト、冷却装置各部名称(復習) |
| | | ウォーターポンプ、ラジエータとラジエータキャップ |
| | | サーモスタット、ファン、LLC(復習) |
| | | ウォーターポンプ～ファン構造研究 作業体験 |
| 71～76 | 燃料装置 | 冷却装置の確認テスト、燃料装置の各部名称(復習) |
| | | インジェクタ、フューエルポンプ |
| | | プレッシャレギュレータ、フューエルタンク |
| | | インジェクタ～フューエルタンクまで構造研究 作業体験 ガス欠したとき |
| 77～84 | 吸排気装置 | 吸排気装置の各部名称(復習) |
| | | エアクリーナ、スロットルボディ、インマニ、エキマニ |
| | | エキパイ、マフラー |
| | | 作業体験 |
| | | 作業体験 |
| | | 排出ガス浄化装置 |
| | | 排出ガス浄化対策 |
| 85～92 | オーディオ、ビジュアル | マルチメディア機器の代表的な機能(音楽再生機能) |
| | | 映像再生機能 |
| | | ナビゲーションの機能 |
| | | 作業体験 |
| 93～97 | エンジン分組 | 班ごとに単体エンジンを分解、組付け |
| 98～111 | エンジン分組 | 班ごとに単体エンジンを分解、組付け |
| | | エンジン分組まとめ |
| 112～117 | ディーゼルエンジンⅡ | ディーゼルエンジンを取り巻く環境の変化 |
| | | 引火点、着火点、軽油の燃焼実験 |
| | | ディーゼルエンジンとすすの発生 |
| | | ディーゼルエンジンの4行程、圧縮熱 |
| | | ディーゼルエンジンの燃焼 |
| | | ディーゼルエンジン特有の不具合 |
| 118～124 | HVⅡ | HVシステムの種類と特徴、作動概要 HV走行体験 |
| | | 作動概要、主要構成部品 |
| | | 動力分割機構の作動(共線図) |
| | | HVシステムの構造 |
| 125～131 | エンジン復習 | バルブ機構 |
| | | バルブタイミングダイヤグラム |
| | | 潤滑装置 |
| | | 冷却装置 |
| | | 吸排気装置 |
| | | エンジン本体、Dエンジン、HV |

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|-------------|------|------|
| 132～ 138 | 復習授業 | 開放授業 |
| 139～ 141 | 修得試験 | 修得試験 |

【成績評価方法・基準】

- ・筆記/実技試験 80%
- ・平常評価 20%

【教科書・教材】

- ・TEAM-GP第1ステップ

【授業外における学習】

- ・授業の最終日にレポート提出が必要となります。
(レポート提出が科目認定の要件になります)

【履修に当たっての留意点】

- ・授業では、エンジニアウェアを着用して下さい。
- ・実習場では実習服・帽子、及び安全靴を着用してください。

| | | | | | | |
|----|--------|--------|------|-----|-------|------|
| 学科 | 科目名 | コード | 開講時期 | 時限数 | 担当講師 | 実務経験 |
| | 基礎工学 I | 511103 | 1年前期 | 8 | 石上 智也 | |

【授業の目的】

自動車に使われる燃料と潤滑剤の性質を理解する

【修得目標】

- ・潤滑剤の必要性が説明できる
- ・ガソリンの取扱いにおける注意点について説明できる

| | |
|------|-----|
| 学科授業 | 8時限 |
| 実習授業 | — |

【授業計画】

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|-----|------|--------------|
| 1～2 | 燃料 | 燃料の種類と精製について |
| 3～7 | 潤滑剤 | 潤滑の原理と目的 |
| | | 潤滑剤の種類 |
| 8 | 確認試験 | 確認試験 |

【成績評価方法・基準】

- ・筆記試験 80%
- ・平常評価 20%

【教科書・教材】

- ・3級自動車ガソリンエンジン

【授業外における学習】

【履修に当たっての留意点】

| | | | | | | |
|----|-------|--------|------|-----|-------|------|
| 学科 | 科目名 | コード | 開講時期 | 時限数 | 担当講師 | 実務経験 |
| | 基礎工学Ⅱ | 511203 | 1年後期 | 19 | 石上 智也 | |

【授業の目的】

自動車に使われる材料・部品、及び基礎的な原理を理解する

【修得目標】

- ・自動車材料の種類について説明できる
- ・自動車に関する基礎的な原理(熱、燃焼、力)について説明できる

| | |
|------|------|
| 学科授業 | 19時限 |
| 実習授業 | — |

【授業計画】

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|-------|----------------|------------------------|
| 1～3 | 自動車材料 | 鉄鋼 |
| | | 鉄鋼の熱処理、非鉄金属 |
| | | 非金属、複合材、塗料 |
| 4 | 自動車の機械要素 | ねじ部品、ねじの締まるしくみ |
| 5 | スプリング・ベアリング | スプリングの種類、ベアリングの種類 |
| 6 | ギヤ・ベルト・プーリー | ギヤの種類、ベルトの種類、プーリー名称 |
| 7 | 確認試験 | 確認試験 |
| 8 | 熱 | 熱と物質、熱と温度、比熱、温度 |
| 9 | 熱の移動 | 伝導、対流、放射、燃焼室内の熱の移動、熱膨張 |
| 10 | 熱膨張 | 燃焼必要な条件、引火点と着火点 |
| 11 | 燃焼 | 燃焼後の成分 |
| 12 | 確認試験 | 確認試験 |
| 13～15 | 力 | 摩擦力、トルク、力のモーメント、速度加速度 |
| 16～17 | 仕事とエネルギー、圧力と応力 | 仕事、エネルギー、圧力、応力 |
| 18 | 確認試験 | 確認試験 |
| 19 | 修得試験 | 修得試験 |

【成績評価方法・基準】

- ・筆記試験 80%
- ・平常評価 20%

【教科書・教材】

- ・3級自動車ガソリンエンジン

【授業外における学習】

【履修に当たっての留意点】

- ・実習場では実習服・帽子、及び安全靴を着用してください。

| | | | | | | |
|----|-------|--------|------|-----|-------|------|
| 学科 | 科目名 | コード | 開講時期 | 時限数 | 担当講師 | 実務経験 |
| | 自動車諸元 | 511204 | 1年後期 | 11 | 谷川 嘉夫 | |

【授業の目的】

自動車カタログに記載されている諸元を理解する

【修得目標】

- ・自動車カタログの諸元項目の意味が説明できる
- ・自動車に働く力が説明できる

| | |
|------|------|
| 学科授業 | 11時限 |
| 実習授業 | — |

【授業計画】

| 回 | テーマ | 授業内容 |
|-----|------------|-------------------|
| 1～8 | 自動車カタログの諸元 | 車両型式・重量・性能 |
| | | 寸法・定員、エンジン |
| | | 排気量・圧縮比 |
| | | 最高出力・最大トルク・使用燃料 |
| | | トランスミッション |
| | | 諸元表の説明の実践 |
| 9 | 自動車の性能 | 自動車に働く抵抗、駆動力、登坂能力 |
| 10 | 復習授業 | 復習授業 |
| 11 | 修得試験 | 修得試験 |

【成績評価方法・基準】

- ・筆記試験 80%
- ・平常評価 20%

【教科書・教材】

- ・TEAM-GP第1ステップ

【授業外における学習】

【履修に当たっての留意点】

- ・実習場では実習服・帽子、及び安全靴を着用してください。